

1. 学会発表

【国際学会】

1. Quantitative analysis of spinal cord evoked potential in elderly patients with cervical spondylotic myelopathy. T. Yokoyama, H. Omi, K. Takeuchi, A. Ono, T. Numasawa, K. Wada, Y. Yamazaki. 26th annual meeting Cervical Spine Research Society European Section, Corfu Island, Greece. 2010.05.26-29.
2. Single use of antimicrobial prophylaxis and postoperative longitudinal glucose level in cervical Laminoplasty. H. Omi, T. Yokoyama, H. Jin, I. Muira, A. Ono, T Numasawa, K. Wada, Y Yamazaki. 26th annual meeting Cervical Spine Research Society European Section, Corfu Island, Greece. 2010.05.26-29.

【国内学会】

1. 母指 CM 関節症に対する Thompson 法の成績 -DASH および SF-36 の評価. 神裕道、藤哲. 第 53 回日本手の外科学会 (新潟市) 2010.04.15-17.
2. 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折における MRI 信号変化. 近江洋嗣、横山徹、神裕道、三浦一朗. 第 108 回東北整形災害外科学会 (弘前市) 2010.06.18-19.
3. 整形外科治療における CO₂ 排出量算出の試み. 三浦一朗、横山徹、神裕道、近江洋嗣. 第 108 回東北整形災害外科学会 (弘前市) 2010.06.18-19.
4. 高齢者の頸椎症性脊髄症における脊髄誘発電位の定量分析. 横山徹、小野睦、竹内和成、近江洋嗣、沼沢拓也、和田簡一郎、山崎義人、塩崎崇、大塚博徳、藤沢洋一. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会 (高知市) 2010.04.22-24.
5. MRI は胸腰椎骨折の予後予測に有用か? 近江洋嗣、横山徹、小野睦、沼沢拓也、和田簡一郎、山崎義人、藤沢洋一. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会 (高知市) 2010.04.22-24.
6. JOACMEQ の患者立脚型評価法としての妥当性 -下肢運動機能に着目して-. 近江洋嗣、横山徹、小野睦、沼沢拓也、和田簡一郎、山崎義人、神裕道、奈良岡琢哉、藤沢洋一. 第 59 回東日本整形災害外科学会 (盛岡市) 2010.09.17-18.
7. 非圧迫性頸椎髄内輝度変化を呈した軟骨無形成症の 1 例. 近江洋嗣、横山徹、藤沢洋一. 第 45 回日本脊髄障害医学会 (松本市) 2010.10.21-22.
8. MRI STIR 法は胸腰椎骨折の予後予測に有用か? 近江洋嗣、横山徹、小野睦、沼沢拓也、和田簡一郎、山崎義人、藤沢洋一. 第 18 回日本腰痛学会 (札幌市) 2010.10.30.
9. バレーボールのブロックで生じた右小指 PIP 関節開放性脱臼の 1 例. 奈良岡琢哉、神裕道、近江洋嗣、横山徹、藤沢洋一. 第 38 回青森スポーツ医学研究会 (青森市) 2010.09.04.

2. 原著論文

【和文原著】

1. 腰部脊柱管狭窄症における preference-based QOL 評価. 近江洋嗣、横山徹、小野睦、沼沢拓也、和田簡一郎、畠山麗華. *Journal of Spine Research*. 1 巻、1309-1313, 2010.
2. 腰椎固定術後の傍脊柱筋の脂肪変性. 近江洋嗣、横山徹、神裕道、三浦一朗、藤沢洋一. *Journal of Spine Research*. 1 巻、1868-1871, 2010.
3. バレーボールのブロックで生じた右小指 PIP 関節開放性背側脱臼の 1 例. 奈良岡琢哉、神裕道、近江洋嗣、横山徹、藤沢洋一. *青森県スポーツ医学研究会誌*, 19 巻、31-34, 2010.